

**食のイノベーション推進事業業務
公募型プロポーザル選定委員会議事録（議事要旨）**

項 目		内 容
1	日 時	令和8年3月27日（金）13時00分から14時30分まで
2	場 所	広島県庁南館 201 会議室
3	出席委員	農林水産局販売・連携推進課長 商工労働局イノベーション推進チーム担当課長（イノベーション環境整備担当） 農林水産局農業経営課長 農林水産局農業技術課長 農林水産局畜産課長
4	議 題	企画提案内容の審査及び最優秀提案者の決定について
5	担当部署	農林水産局 販売・連携推進課
6	開催方法	参集
7	議事内容	<p>提案書を基にプレゼンテーションを行い、各選定委員が審査表に基づき採点した。合計点数が6割を超えており、総合値が最も高い事業者を選定することに選定委員からの異論はなく、業務予定者を合同会社MHDFに決定した。</p> <p>なお、審査における主な意見は次のとおり。</p> <p>（合同会社 MHDF）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトチームの組成においては、掘り起こしたアイデアに足りないところを適切に見出し、課題解決に向けた PDCA を回して世に出していくノウハウを有することが評価できる。 ・一方、新たなビジネスの実現に向けては、自社以外の専門家等を派遣する提案がなく、効果的な伴走支援ができる体制が必要である。 <p>（しんきん地域創生ネットワーク株式会社）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たなビジネスの実現に向けて、県内での販路開拓等の実績がある専門家チームによる伴走支援体制を構築するなど、効果的な伴走支援が期待できる提案だった。 ・一方、プロジェクトチームの組成においては、意欲ある事業者を募るビジネス創発イベントやプロモーションの内容に具体性が欠けていた。また、スタートアップの伴走支援実績も少なく感じた。 <p>（パーソルキャリア株式会社）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たなビジネスの実現については、副業人材のデータベース活用など、効果的な伴走支援の実施に向けて一定の期待ができる提案だった。

		<ul style="list-style-type: none">・一方、プロジェクトチームの組成に向けては、食に関する専門知識を外部のプロ人材に依存している印象が強く、事務局として主体的にプロジェクトチームを組成し、実行計画等の策定支援ができるか疑問である。
--	--	---